

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	四條畷学園大学
設置者名	学校法人四條畷学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
リハビリテーション学部	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	—	—	26	30	56	13	
	リハビリテーション学科 作業療法学専攻	—			44	70	13	
看護学部	看護学科	—		3	14	17	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>大学ホームページ(情報公開：授業科目，授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること)</p> <p>http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/guide/disclosure.html</p> <p>大学ホームページ (シラバス検索)</p> <p>https://portal.shijonawate-gakuen.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp</p> <p>ゲストユーザーをクリックしてシラバス紹介画面に入った後、科目名称・教員氏名・曜日時限・キーワードのいずれかを入力して検索 実務経験のある教員については「授業に関する実務経験」で検索。</p>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 無
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	四條畷学園大学
設置者名	学校法人四條畷学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学園ホームページにて公開 http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/organization/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2019.6.1 ～ 2021.5.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社役員	2019.6.1 ～ 2021.5.31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	四條畷学園大学
設置者名	学校法人四條畷学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)の作成過程 シラバスは、各学部の教務委員会が中心となって作成している。教務委員会において『シラバス作成の手引き』を作成し各授業担当教員に配付している。手引きには、大学の教育目標の他、シラバス入力上の注意点に加えて、項目説明と記載に関するガイドラインを記載している。 各授業科目担当教員は手引きに基づき、シラバスシステムに入力を行っている。教務委員会において、入力されたシラバスがガイドラインに基づいて作成されていることをチェック、教務委員会の指示による加筆・修正後、Web 上で公開している。 ・シラバス記載事項 「科目名称」「単位数」「開講時期」「配当年次」「授業形態」「必修・選択の別」「授業目的」「到達目標」「授業概要」「授業計画(回数・内容)」「準備学習」「評価基準」「テキスト」「参考書」「その他(授業に関する実務経験を含む)」 ・授業計画の作成・公表時期 シラバスの作成は2月から開始する。公表は前期(3月中旬)と後期(7月下旬)に分けて行われる。 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>大学 HP (シラバス検索) https://portal.shijonawate-gakuen.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp</p> <p>ゲストユーザーをクリックしてシラバス紹介画面に入った後、科目名称・教員氏名・曜日時限・キーワードのいずれかを入力して検索</p>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業計画（シラバス）の記載事項として、「到達目標」並びに「評価基準」を明記することとしている。「到達目標」において、ディプロマポリシーとの関連を明確にした上で、身につけるべき能力を記載している。「評価基準」では、成績評価の手段とその割合をパーセンテージで明記している。なお、出席状況は成績評価基準には含めていない。</p> <p>成績評価は、授業計画に記載された方法で行っている。なお、成績発表の際に、学生からの評価に関する問い合わせがあれば、評価に至った理由等を科目担当教員が説明している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は100点満点で行い、点数により5段階〔秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）不可（59点以下）〕で評価している。秀・優・良・可が合格、不可は不合格としている。</p> <p>また、成績評価においてGPA制度を導入し、活用している。上記5段階評価にポイントを付与（秀：4、優：3、良：2、可：1、不可：0）し、単位あたりの平均値を算出している。なお、試験不受験、講義の欠席回数が所定の数を超えたことによる失格、不正行為による無効は0ポイントとして計算される。講義不開講等による履修の取消は計算に含めていない。</p> <p>・GPAの算出方法 $GPA = (\text{各履修登録科目の Grade Point} \times \text{その科目の単位数}) \div \text{履修登録科目の総単位数}$</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学生に対しては、学生便覧に明記する他、ホームページ上で一般に公開している。</p> <p>http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/guide/disclosure.html</p>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）は、各学部において学生が身につける資質・能力を「情意領域」「認知領域」「精神運動領域」の3領域の視点に基づき作成されている。

各学部カリキュラムは、カリキュラムポリシーに基づき編成され、所定の単位を修得することで、ディプロマポリシーを達成できるようデザインされている。

卒業の認定にあたっては、所定の単位数を修得した者に対し、各学部教授会の議を経て学長が卒業を認定することと学則に定めている。

【リハビリテーション学部 ディプロマポリシー】

リハビリテーション専門職として必要な知識や技術の修得に止まらず、医療・保険・福祉の領域において最善を尽くそうとする熱意・誠意をもち、専門技術の実践力と応用力を修得した者に対して学士（リハビリテーション学）号を授与する。

情意領域

- ・人への感謝を忘れず、人のために尽くそうという高い志を備えている。
- ・リハビリテーション専門職として人間性豊かな倫理観と責任感を兼ね備えている
- ・リハビリテーション専門職としての熱意とたゆまぬ向上心を備えている。

認知領域

- ・リハビリテーションの社会的意義、責任について理解している。
- ・リハビリテーション専門職として必要な教養を備えている。
- ・リハビリテーション専門職として必要な基礎医学の知識を修得している。
- ・リハビリテーション専門職に必要な幅広い臨床医学の知識を修得している。
- ・理学療法士・作業療法士として必要な専門的知識・技術を修得している。
- ・事象を科学的に捉え、客観的な判断が出来る能力を備えている。

精神運動領域

- ・チーム医療の一員としての役割を認識し、責任ある行動がとれる。
- ・リハビリテーション専門職としてのコミュニケーション能力を備えている。
- ・対象者に対してインフォームドコンセントが実践できる。
- ・リハビリテーション医療を実践するにあたって必要な安全性に対する配慮が出来る。
- ・専門的知識や技術を目的に応じて正確に選択し、実践できる。
- ・臨床場面で指導的役割を果たすための基礎力を備えている。

【看護学部 ディプロマポリシー】

1. 豊かな人間性と幅広い教養を持った社会性のある医療人として基礎的能力を修得している。(情意領域)
2. 生命の尊厳と人権の尊重への深い理解を有し、専門職として倫理観を身につけている。(情意領域)
3. 人々の健康に関わる専門的知識を修得し、多面的に物事を分析・判断する能力を身につけている。(認知領域)
4. 人々の生活の質（QOL）の向上をめざし、対象に合わせて看護実践する能力を身につけている。(精神運動領域)
5. 様々な療養の場で生活する人々とその家族のニーズを理解し、必要に応じた看護を実践する能力を身につけている。(精神運動領域)
6. 保健・医療・福祉チームの一員として、多職種と連携・協働に向けて行動する能力を

<p>身につけている。(情意領域)</p> <p>7. 看護を通して社会に貢献するため、自らの課題を見出し生涯にわたって研鑽する姿勢を身につけている。(情意領域)</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>卒業の認定に関する方針はディプロマ・ポリシーとして大学のホームページ、大学案内、学生便覧等で広く公開している。</p> <p>http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/guide/educationalgoal.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	四條畷学園大学
設置者名	学校法人四條畷学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページの財務情報のページに掲載 http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/finance/
収支計算書又は損益計算書	ホームページの財務情報のページに掲載 http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/finance/
財産目録	ホームページの財務情報のページに掲載 http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/finance/
事業報告書	ホームページの財務情報のページに掲載 http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/finance/
監事による監査報告(書)	ホームページの財務情報のページに掲載 http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/finance/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:事業計画書)	対象年度:平成30年度)
公表方法:本学園ホームページ http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/report/	
中長期計画(名称:SG 90-100 Plan)	対象年度:令和元年度~令和3年度)
公表方法:本学園ホームページ http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/report/	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:大学HP(情報公開:自己点検報告書) http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/guide/file/jikohyouka30.pdf
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:大学HP(認証評価) http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/guide/jihee.html
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	リハビリテーション学部
教育研究上の目的 (公表方法: 大学 HP: 教育目標・3 つのポリシー http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/guide/educationalgoal.html)	(概要) 1. 社会に貢献する人間性豊かな尊敬される人材を育成すること 2. 科学する力と旺盛な研究心を身につけたセラピストを育成すること 3. セラピストとしての実践力を育成すること
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 大学 HP: 教育目標・3 つのポリシー http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/guide/educationalgoal.html)	(概要) リハビリテーション専門職として必要な知識や技術の修得に止まらず、医療・保険・福祉の領域において最善を尽くそうとする熱意・誠意をもち、専門技術の実践力と応用力を修得した者に対して学士(リハビリテーション学)号を授与する。 情意領域 ・人への感謝を忘れず、人のために尽くそうという高い志を備えている。 ・リハビリテーション専門職として人間性豊かな倫理観と責任感を兼ね備えている ・リハビリテーション専門職としての熱意とたゆまぬ向上心を備えている。 認知領域 ・リハビリテーションの社会的意義、責任について理解している。 ・リハビリテーション専門職として必要な教養を備えている。 ・リハビリテーション専門職として必要な基礎医学の知識を修得している。 ・リハビリテーション専門職に必要な幅広い臨床医学の知識を修得している。 ・理学療法士・作業療法士として必要な専門的知識・技術を修得している。 ・事象を科学的に捉え、客観的な判断が出来る能力を備えている。 精神運動領域 ・チーム医療の一員としての役割を認識し、責任ある行動がとれる。 ・リハビリテーション専門職としてのコミュニケーション能力を備えている。 ・対象者に対してインフォームドコンセントが実践できる。 ・リハビリテーション医療を実践するにあたって必要な安全性に対する配慮が出来る。 ・専門的知識や技術を目的に応じて正確に選択し、実践できる。 ・臨床場面で指導的役割を果たすための基礎力を備えている。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 大学 HP: 教育目標・3 つのポリシー http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/guide/educationalgoal.html)	(概要) 1. 幅広い教養、豊かな人間性および高い倫理観を兼ね備えた人材育成を目指したカリキュラムとする 2. 初年度の基礎教育から専門教育への円滑なつながりを考慮したカリキュラムとする 3. 専門的知識、技術の修得に必要な基礎医学、臨床医学を配慮したカリキュラムとする 4. 医療専門職に求められる最新の知識、技術を修得し、実践力を育成するためのカリキュラムとする 5. 社会のニーズに対応した保健・医療・福祉を推進するためのカリキュラムとする 6. 地域社会だけでなくグローバル社会においても活躍することのできるコミュニケーション能力を涵養するためのカリキュラムとする

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学 HP：教育目標・3つのポリシー http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/guide/educationalgoal.html ）</p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人への感謝を忘れず、人のために尽くそうという高い志を持っている人 2. 自分の力を保健（健康増進、障害予防）、医療（障害治療、回復）、福祉（障害者福祉、高齢者福祉）などの領域で生かしたいと思っている人 3. リハビリテーション専門職を目指す熱意とたゆまぬ向上心を兼ね備えた人 4. 規律を重視し、多様な人々と主体性を持って協働することができる人 5. リハビリテーション医学や隣接領域での最新の成果を生かした新しいリハビリテーション医療の創造に挑戦したいと思っている人

<p>学部等名 看護学部</p>
<p>教育研究上の目的（大学 HP：教育目標・3つのポリシー http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/guide/educationalgoal.html ）</p>
<p>（概要）</p> <p>生命の尊厳を守り、患者・家族を中心とした看護を実践できる人間性豊かな看護専門職の養成、また看護専門職としての高い倫理観を持って、医療・保健・福祉の場で看護を実践できる人材を育成すること</p> <p>養成する人材像</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幅広い教養を身に付け、生命の尊厳と人権の尊重について深く理解した、人を思いやる人間性豊かな人材 2. 看護に必要な専門的知識と技術を修得し、科学的根拠に基づく判断と看護実践力を兼ね備えた人材 3. 保健・医療・福祉の総合的視野から、関係分野の職種と連携・協働し、チーム医療の一員として活躍できる人材 4. 看護専門職としての社会的責務に基づき、看護の専門性やケアの質の向上に向けて探求できる人材

<p>卒業の認定に関する方針（大学 HP：教育目標・3つのポリシー http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/guide/educationalgoal.html ）</p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性と幅広い教養を持った社会性のある医療人として基礎的能力を修得している。（情意領域） 2. 生命の尊厳と人権の尊重への深い理解を有し、専門職として倫理観を身につけている。（情意領域） 3. 人々の健康に関わる専門的知識を修得し、多面的に物事を分析・判断する能力を身につけている。（認知領域） 4. 人々の生活の質（QOL）の向上をめざし、対象に合わせて看護実践する能力を身につけている。（精神運動領域） 5. 様々な療養の場で生活する人々とその家族のニーズを理解し、必要に応じた看護を実践する能力を身につけている。（精神運動領域） 6. 保健・医療・福祉チームの一員として、多職種と連携・協働に向けて行動する能力を身につけている。（情意領域） 7. 看護を通して社会に貢献するため、自らの課題を見出し生涯にわたって研鑽する姿勢を身につけている。（情意領域）

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学HP：教育目標・3つのポリシー
<http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/guide/educationalgoal.html> ）

（概要）

1. 多様化した対象者のニーズに対応するべく、豊かな人間性と高い倫理観を兼ね備えた看護専門職を育成するため、資格取得を看護師資格に絞り、看護師に特化したカリキュラムを構成している。
2. 教養科目、専門基礎科目、専門科目の3つの科目群から構成し、看護専門職として基礎的な内容から専門的・応用的な内容へと段階的に学修を積めるように配置している。
 - 1) 教養科目は、幅広い教養を身につけ、生命の尊厳と人権の尊重について理解し、人を思いやる人間性を育むことを目的とした科目群である。導入基礎科目、教養基礎科目と科学的思考の基礎、語学から構成している。この科目は、1・2年次で学修する科目に加えて、4年次にも配置、これまでの学修経験を基に洞察と倫理観を深めるよう配置している。
 - 2) 専門基礎科目は、人体や疾病のメカニズム、倫理や社会保障制度など、看護の専門知識を学ぶ上で基礎となる知識を身につけることを目的とした科目群である。人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進・健康支援と社会保障制度から構成している。
 - 3) 専門科目は、看護学の専門的知識・技術を基礎から応用へと段階的に学修するための科目群である。基礎看護学・成人看護学・老年看護学・母性看護学・小児看護学・精神看護学・在宅看護学、看護の探求と発展から構成している。
3. 様々な療養の場で生活する人々とその家族のニーズに対応できる力を看護実践力の中核とし、1つの模擬家族を事例として各専門領域で看護過程を展開するなど、自らが体験する演習や実習を多く設定している。
4. 1から3において実践的に看護を学修できるよう、講義・演習・実習というサイクルを繰り返しながら、各専門科目が相乗し、らせん状で学問を展開する。知識を身につけ、体験し、そして振り返りというプロセスが深い理解につながるように科目を配置している。

入学者の受入れに関する方針（大学HP：教育目標・3つのポリシー
<http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/guide/educationalgoal.html> ）

（概要）

1. 看護について関心を持ち、保健・医療・福祉に貢献したいと考えている人（関心・意欲）
2. 人に対するおもいやりを持ち、感謝できる人（態度）
3. 人と理解しあうコミュニケーション能力（聴く・伝える）が身についている人（技能・表現）
4. 自ら考え、主体的に行動できる人（思考・判断）
5. 高等学校で学ぶ主要科目（国語・英語・数学・理科・社会）および論理的文章力について基礎学力を有している人（知識・理解）

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学HP（情報公開：教育研究上の基本組織に関すること）

<http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/guide/file/大学の機構.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
リハビリテーション学部	—	9人	5人	5人	3人	0人	21人
看護学部	—	8人	3人	11人	3人	2人	27人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		97人					97人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学ホームページ（教員紹介） http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/teacher/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
リハビリテーション学部	80人	79人	98.8%	320人	270人	84.4%	0人	0人
看護学部	80人	79人	98.8%	320人	329人	102.8%	0人	0人
合計	160人	158人	98.8%	640人	599人	93.6%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
リハビリテーション学部	57人 (100%)	0人 (0%)	47人 (82.5%)	10人 (17.5%)
看護学部	62人 (100%)	0人 (0%)	60人 (96.8%)	2人 (3.2%)
合計	119人 (100%)	0人 (0%)	107人 (89.9%)	12人 (10.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
リハビリテーション学部	93人 (100%)	43人 (46.2%)	15人 (16.1%)	34人 (36.6%)	1人 (1.1%)
看護学部	85人 (100%)	62人 (72.9%)	12人 (14.1%)	11人 (12.9%)	0人 (0%)
合計	178人 (100%)	105人 (59.0%)	27人 (15.2%)	45人 (25.3%)	1人 (1.0%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>各学部カリキュラムは、カリキュラムポリシーに基づき編成され、所定の単位を修得することで、ディプロマポリシーを達成できるようデザインされている。</p> <p>各科目における授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画については、シラバスに記載している。</p> <p>・授業計画（シラバス）の記載事項</p> <p>「科目名称」「単位数」「開講時期」「配当年次」「授業形態」「必修・選択の別」「授業目的」「到達目標」「授業概要」「授業計画（回数・内容）」「準備学習」「評価基準」「テキスト」「参考書」「その他（授業に関する実務経験を含む）」</p>

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業計画（シラバス）の記載事項として、「到達目標」並びに「評価基準」を明記することとしている。「到達目標」において、ディプロマポリシーとの関連を明確にした上で、身につけるべき能力を記載している。「評価基準」では、成績評価の手段とその割合をパーセンテージで明記している。なお、出席状況は成績評価基準には含めていない。</p> <p>成績評価は100点満点で行い、点数により5段階〔秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）不可（59点以下）〕で評価している。秀・優・良・可が合格、不可は不合格としている。</p> <p>卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）は、各学部において学生が身につける資質・能力を「情意領域」「認知領域」「精神運動領域」の3領域の視点に基づき作成されている。</p> <p>卒業の認定にあたっては、所定の単位数を修得した者に対し、各学部教授会の議を経て学長が卒業を認定することと学則に定めている。</p>
--

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
リハビリテーション学部	リハビリテーション学科 理学療法専攻	128 単位	有	50 単位
	リハビリテーション学科 作業療法専攻	128 単位	有	50 単位
看護学部	看護学科	130 単位	有	20～24 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学 HP (情報公開：校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること) 交通アクセス： http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/guide/access.html 施設紹介： http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/campus/map.html
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
リハビリテーション学部	リハビリテーション学科	1,340,000 円	300,000 円	240,000 円	教育充実費・ 実習関係費
看護学部	看護学科	1,300,000 円	300,000 円	280,000 円	教育充実費・ 実習関係費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 教務委員会、教務課、学生委員会、学生課、学年担任（担任アドバイザー）が協業し、学生支援および授業支援に全学的に取り組んでいる。 担任（担任アドバイザー）は、学生の状況把握や学生の意見を集約し、必要に応じて日常における学習状況の把握や生活上の問題などの対応を行っている。 全専任教員が週2回のオフィスアワーを設けており、学生が授業や勉学、生活上の問題に対する相談ができる体制が取られている。 また、四條畷学園臨床心理研究所（The Institute of Clinical Psychology 以下 ICP）にはカウンセラーが常駐し、学生や保護者から各種の不安などの相談に応じる体制をとっている。 これらが協業し、学生の学習支援体制をとっている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>本学は医療専門職の育成を使命としており、知識の教授だけでなく、実践力の向上を図ったカリキュラムを編成している。4年間を通じて行われる臨床（臨地）実習は、科学的根拠に基づく実践教育の場であるとともに、医療専門職としての理想像の描く上で重要な機会として、インターンシップに代わるキャリア教育としての役割も担っている。</p> <p>カリキュラム外でのキャリア教育については、各学部就職委員会が中心となってガイダンス等の企画・運営を行っている。また、キャリアセンターを開設し、キャリアコンサルタントの資格を持つスタッフによるキャリアカウンセリングを随時行っている。就職委員会、担任（担任アドバイザー）、キャリアセンターが連携しながら、就職相談からエントリーシートの作成や模擬面接まで含めたサポートを行っている。</p> <p>就職情報については、各学部ラウンジで随時閲覧することができ、また Web を通じて就職情報を閲覧することもできる。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学生生活安定のために、学生委員会が学生生活全般に関する学生の意見・要望の把握と学生生活向上のための支援を実施している。</p> <p>学生の健康管理の支援については、入学時に感染予防対策として麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘、およびB型肝炎について血液検査を実施し、その結果に基づいて予防接種に関する全体及び個別指導を行っている。</p> <p>各学舎に保健室を設置し、「四條畷学園大学運営要領」ならびに「四條畷学園大学保健室運用申し合わせ」を定め、各学部で業務担当者を配置し運営している。</p> <p>メンタルヘルスについては、担任（担任アドバイザー）が担当学生の状況に応じて ICP と連携しながら対応している。ICP における学生相談については、入学時ガイダンスにカウンセラーによるオリエンテーションを実施している。また保護者にも郵送で周知している。</p> <p>ICP の協力の下、全学生に対して「大学生生活支援カード」によるアンケート調査を実施し、修学上の学力不安・精神的不安・生活不安等に関する調査を学生および保護者に対し行い、心理的不安の払拭・修学に対する意欲の向上などに役立てている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：大学 HP（教員紹介）</p> <p>http://un.shijonawate-gakuen.ac.jp/teacher/</p>
--